

中東呼吸器症候群（MERS）発生状況について（2015年6月15日現在）

○MERS とは

新種のコロナウイルスによる呼吸器疾患

○2012年9月22日～2015年6月3日までのヒト感染の確定症例

WHO への報告 1,179 例（死亡 442 例：致命率 38%）

世界 25 か国から報告例があり、中東地域もしくは中東由来

○韓国の状況

2015年5月11日 韓国で1例目の発症者

中東への渡航歴のある60代男性

2015年6月15日現在 感染者150例が報告され、うち死亡者16名

うち中東への渡航歴がある者は初発患者のみ

○日本の状況

2014年7月26日 指定感染症

2015年1月21日 指定感染症から2類感染症へ

今回の韓国の発生を受け厚生労働省より通知

2015年6月1日 韓国におけるMERSの発生について

2015年6月4日 韓国におけるMERSの対応について

2015年6月5日 韓国におけるMERSへの対応に関する具体的な運用について

2015年6月10日 中東呼吸器症候群（MERS）の国内発生時の対応について

2015年6月12日 中東呼吸器症候群（MERS）の国内発生時の対応に関する /

Q & A について

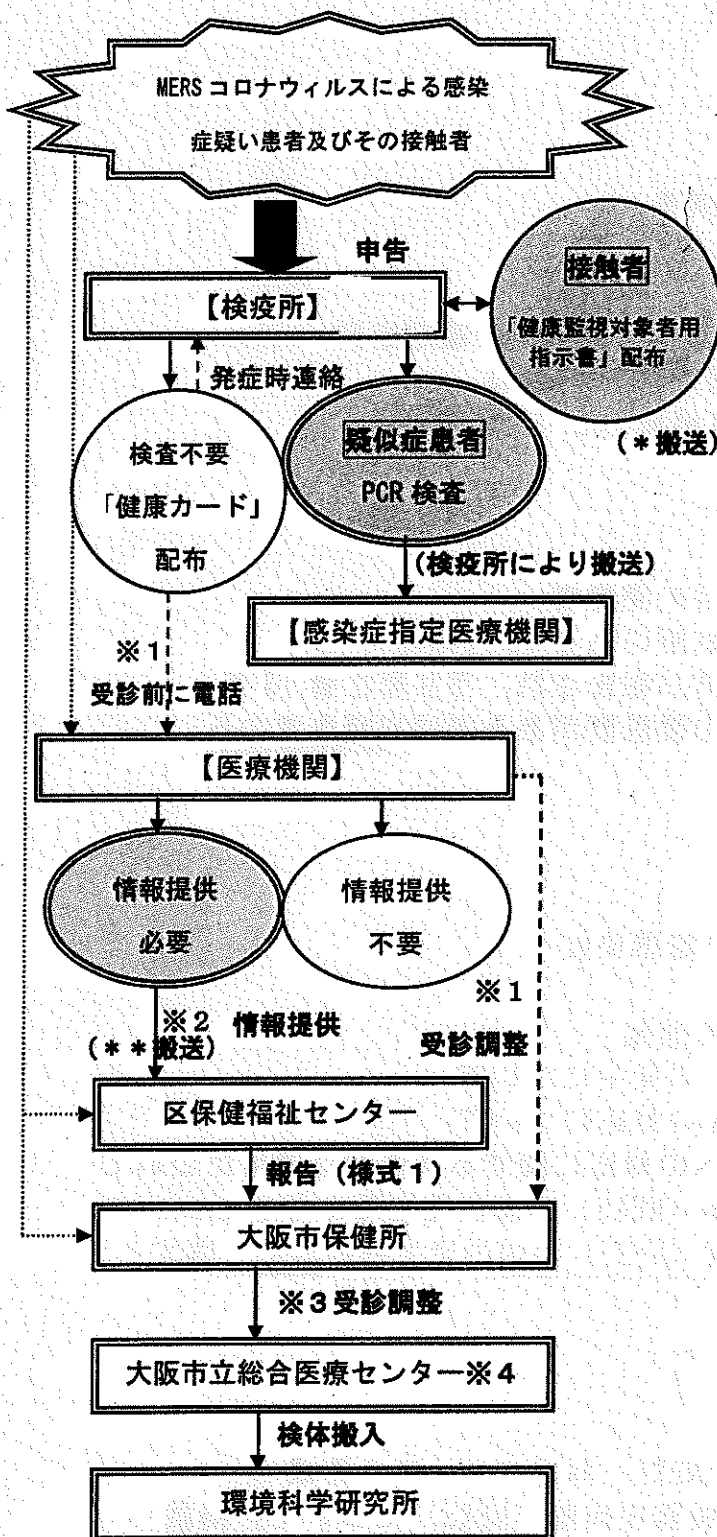
○本市の対応

2014年8月 中東呼吸器症候群（MERS）対応マニュアル作成

2014年8月 本市HPに「中東呼吸器症候群（MERS）について」掲載

2015年6月5日 韓国におけるMERSの発生に伴いHPを更新

MERS 発生時の対応フロー図【暫定版】



(* 搬送)：検疫所と大阪市が調整し搬送

(** 搬送)：医療機関と大阪市が調整し搬送

中東呼吸器症候群(MERS)疑い患者が発生した場合の自治体向け暫定的対応フロー【当面】(別紙2)

※ MERS疑似症患者の定義:

平成27年6月10日現在

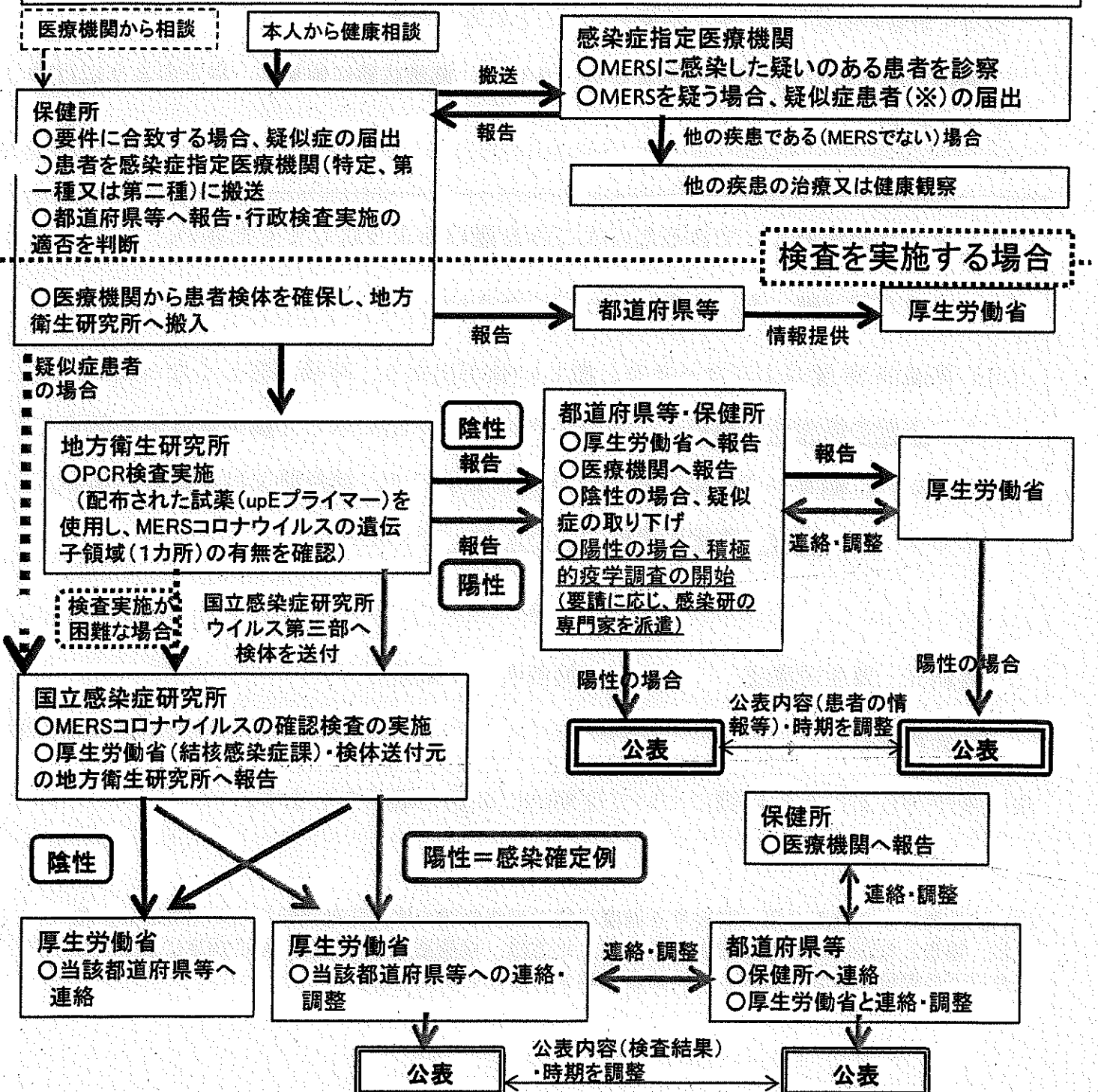
以下のア、イ又はウに該当し、かつ、他の感染症又は病因によることが明らかでない患者

ア 38℃以上の発熱及び咳を伴う急性呼吸器症状を呈し、臨床的又は放射線学的に肺炎、ARDSなどの実質性肺病変が疑われる者であって、発症前14日以内に対象地域(※)に渡航又は居住していたもの

イ 発熱を伴う急性呼吸器症状(軽症の場合を含む。)を呈する者であって、発症前14日以内に対象地域(※)において、医療機関を受診若しくは訪問したもの、MERSであることが確定した者との接触歴があるもの又はヒトコブラクダとの濃厚接触歴があるもの

【※ 対象地域: アラビア半島又はその周辺諸国】

ウ 発熱又は急性呼吸器症状(軽症の場合を含む。)を呈する者であって、発症前14日以内に、対象地域か否かを問わず、MERSが疑われる患者を診察、看護若しくは介護していたもの、MERSが疑われる患者と同居(当該患者が入院する病室又は病棟に滞在した場合を含む。)していたもの又はMERSが疑われる患者の気道分泌液若しくは体液等の汚染物質に直接触れたもの



韓国から帰国・入国された方へ

中東呼吸器症候群（MERS）は、新しい種類のコロナウイルスによる感染症です。感染すると高熱や咳、息切れといったインフルエンザのような症状が出ます。特別な治療法はなく患者の症状に合わせて治療を行うことになります。

韓国に滞在していた方は、本日から14日間、健康状態に留意し、以下のように行動してください。

- (1) マスクを着用し、できるだけ人ごみを避けるようにしてください。
- (2) 毎日2回（朝、夕）体温を測ってください。
- (3) 体温が38度以上になったり、激しい咳が出たり、呼吸が苦しくなったら、直ちに下記の検疫所に連絡し、あなたの名前、下記に示した調査票番号を伝えてください。他者への感染のおそれがありますので、検疫所又は保健所の指示があるまでは、絶対に直接医療機関に行かないでください。

記

連絡先：厚生労働省

検疫所

電話：

調査票番号： _____

※検疫所からあなたの体調について定期的に確認の電話をします。

注) 検疫法第18条第2項に規定する健康状態の報告要請です。正確に報告してください。なお、報告しなかった方又は虚偽の報告をした方は、検疫法第36条第7号の規定により6か月以下の懲役又は50万円以下の罰金に処されることがあります。



サイトの使い方

サイトマップ

語上げ・ふりがな

お問合せ

文字サイズ

大 中 小

サイト内検索

検索

検索ヘルプ

総合

市民の方へ

事業者の方へ

イベント・観光

市政

組織一覧

大阪市総合トップ

大阪市市民の方へ

健康・医療

健康と医療

感染症情報・予防接種

感染症情報

中東呼吸器症候群(MERS)について

中東呼吸器症候群(MERS)について

[2015年6月23日]

中東呼吸器症候群(MERS)は、2012年に初めて報告された新しい種類のコロナウイルスによる感染症です。

中東地域に居住または渡航歴のある方、あるいはMERS患者との接触歴のある方からの患者発生が継続的に報告されています。

5月11日に韓国において発生したMERS輸入症例については、診断が遅れたことや、医療機関における院内感染対策の不徹底等により、医療従事者や同じ病棟の患者やその家族に二次感染が多数発生しました。

厚生労働省は、本事例を踏まえて院内感染対策を徹底すること、MERSへの感染が疑われる患者の発生に関し迅速な情報共有を行う事等について医療機関に対し注意喚起を行っています。

また、韓国において、死亡例を含む多数の患者が発生していることを踏まえ、MERSへの感染が疑われる患者の発生時に迅速な対応が行えるよう、情報を求める患者の要件が一部改正され、対象地域(アラビア半島又はその周辺諸国)か否かを問わず、MERSが疑われる患者と接触した可能性のある方で、発熱やせきなどの呼吸器症状がある方は、MERS疑似症患者として取り扱われることとなりました。

さらに、国内でMERSへの感染が疑われる患者が発生した場合に、二次感染が疑われる者に対する積極的疫学調査等の対応が迅速に行えるよう、「中東呼吸器症候群(MERS)に対する積極的疫学調査実施要領(暫定版)」が改訂されました。

韓国におけるMERSについて詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

どんな病気？

MERSコロナウイルスにより、急性の呼吸器症状を起こします。

2003年に流行した重症呼吸器症候群(SARS)の原因であるSARSコロナウイルスとは近縁ですが、異なる種類のウイルスです。

どうやって感染するの？

感染経路は正確にはわかりませんが、ヒトコブラクダが感染源動物のひとつであるとされています。

大阪市民の方へ 中東呼吸器症候群(MERS)について

その一方で、患者の中には、動物との接触歴のない方も多数含まれており、家族間、医療機関における患者間、患者－医療従事者間など、濃厚接触者間での感染も報告されています。ただし、季節性インフルエンザのように、次々とヒトからヒトへ感染していくこと(持続的なヒト－ヒト感染)はないとされています。

どんな症状？

潜伏期は2～14日(平均5日)です。主な症状は、発熱、咳、息切れなどです。下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。症状が現れない方(無症状病原体保有者)や軽症の方もいますが、高齢の方や糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの基礎疾患をお持ちの方は重症化する傾向があります。

治療方法は？

特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。

予防方法は？

予防接種はありません。

流行地へ渡航する際は、感染予防と、万が一感染した場合の対応のために、事前に注意事項を確認しておきましょう。

[中東呼吸器症候群\(MERS-CoV\)感染症に関する注意事項](#) 別ウィンドウで開く (厚生労働省検疫所 FORTH)

ご活用ください



中東呼吸器症候群(MERS)(ちらし) (pdf, 195.97KB)



PDFファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、[Adobe 社のサイト](#)から Adobe Reader をダウンロード(無償)してください。

もっと詳しい情報が必要な方へ

- [中東呼吸器症候群\(MERS\)について](#) 別ウィンドウで開く -厚生労働省
- [中東呼吸器症候群\(MERS\)に関するQ&A](#) 別ウィンドウで開く -厚生労働省
- [中東呼吸器症候群\(MERS\)](#) 別ウィンドウで開く -国立感染症研究所
- [韓国及び中国・MERSコロナウイルスによる感染症の発生](#) 別ウィンドウで開く -外務省 海外安全ホームページ

このページの作成者・問合せ先

大阪市健康局大阪市保健所感染症対策課感染症グループ

住所: 〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7-1000号(あべのメディックス11階)

電話: 06-6647-0656 ファックス: 06-6647-1029

[メール送信フォーム](#)

中東呼吸器症候群(マーズ MERS)

【概要】

中東呼吸器症候群（MERS；マーズ）は MERS（マーズ）コロナウイルスによって起こる感染症で、2012 年に初めて報告されました。中東地域に居住または渡航歴のある方、あるいは MERS 患者との接触があった方に、中東呼吸器症候群(MERS)の症例が継続的に報告されています。現在のところ、日本での発生例はありません。

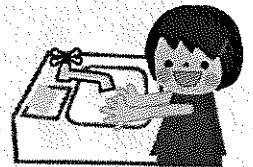
※主な発生国：主にアラビア半島諸国（アラブ首長国連邦、イエメン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、ヨルダン）

【症状】

感染してから2～14日後に、呼吸器症状（発熱、せき、息切れや呼吸困難など）を引き起こします。感染しても症状が出ない場合もあります。

【治療】

特別な治療方法やワクチンはありません。



【予防対策】

中東地域に渡航される場合には次のことに御注意ください！！

- ✧ 石けんで手をしっかり洗いましょう。手指消毒薬も有効です。
- ✧ 加熱していない肉や不衛生な状況で用意された食品は食べないようにするほか、果実や野菜は食べる前に適切に洗うなどの食品衛生対策を行いましょう。
- ✧ 農場の動物、家きん、野生動物に不用意に接触しないようにしましょう。
★とくにラクダとの接触や未殺菌のラクダ乳の摂取はできるだけ避けましょう。

帰国時に発熱や咳など急性呼吸器症状のある方は、空港内等の検疫所へご相談ください。帰国後 14 日以内に、発熱や咳などの症状がみられ、最寄りの医療機関を受診する際は、事前に医療機関に連絡の上、アラビア半島諸国に滞在していたことを伝えてください。

[参考サイト]

大阪市感染症情報 http://www.city.osaka.lg.jp/shimin_top/category/716-1-16-9-0.html
 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/mers.html>
 国立感染症研究所 <http://www.niid.go.jp/niid/ja/>
 FORTH/厚生労働省検疫所 <http://www.forth.go.jp>

[保健福祉センター問い合わせ先]

(受付時間：土日祝日・年末年始を除く 9:00～17:30)

各 区	電話番号	各 区	電話番号
北	6313-9882	東淀川	4809-9882
都 島	6882-9882	東 成	6977-9882
福 島	6464-9882	生 野	6715-9882
此 花	6466-9882	旭	6957-9882
中 央	6267-9882	城 東	6930-9882
西	6532-9882	鶴 見	6915-9882
港	6576-9882	阿倍野	6622-9882
大 正	4394-9882	住之江	6682-9882
天王寺	6774-9882	住 吉	6694-9882
浪 速	6647-9882	東住吉	4399-9882
西淀川	6478-9882	平 野	4302-9882
淀 川	6308-9882	西 成	6659-9882

大阪市保健所感染症対策課

TEL 6647-0656